

[専門教育科目/看護の展開/成人看護学]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
成人看護援助論 I	NSP22_003	必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
小林 美雪 他	407	m.kobayashi	振り返り用紙および Teams により質問等受付		
授業の目的・概要	成人・老年期の生命の危機的状態にある対象とその家族に焦点をあて、生命の維持、苦痛の緩和、セルフケア能力の回復に向けた援助方法の修得を目的とする。授業は Teams および対面授業で行い、急性期看護に必要な基本知識(解剖学、病態生理学、心理社会学等)を基にした対象への治療および看護援助の考え方と方法を実践的な演習・DVD 活用等のアクティブラーニングを活用して学習する。				
学習上の助言	成人看護学概論、成人看護援助論 II で学修した知識と 1 年次および 2 年次の疾病治療論等の基礎知識が前提となるので、授業を通して事前・事後学習を自主的に行うこと。				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> 1、2 年次使用教科書 <ul style="list-style-type: none"> ① 専門分野(2)成人看護学<2> 第 15 版 呼吸器(系統看護学講座)/医学書院 ② 専門分野(2)成人看護学<3> 第 15 版 循環器(系統看護学講座)/医学書院 ③ 専門分野(2)成人看護学<5> 第 15 版 消化器(系統看護学講座)/医学書院 ④ 系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論/医学書院 				
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・経過別成人看護学①急性期看護：クリティカルケア/編：明石恵子、益田美津美/メヂカルフレンド/2018 ・経過別成人看護学②周術期看護/編：明石恵子、益田美津美/メヂカルフレンド/2018 				
学生が達成すべき行動目標					
①	生命の危機状態にある対象と家族の回復過程への看護について説明ができる。	関連卒業認定・学位授与方針 HSU(1),NS(4)(5)			
②	生命の危機的状態にある対象の治療、処置、検査について説明できる。	HSU(3),NS(3)			
③	治療(手術を含む)、処置、検査を受ける対象への看護を説明できる。	NS(4)(5)			
④	生命の危機的状態を脱した対象と家族のセルフケアへの看護が説明できる。	HSU(3)(4),NS(6)			
⑤	対象の社会的背景を踏まえ退院後の QOL の維持・向上の看護援助を理解できる。	NS(1)(2)(3)(4)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	急性期看護(クリティカルケア)の基本(概念・対象・看護の役割・看護の要点 等)	講義・演習	事前課題：臨床外科看護総論序章「外科看護とは」「外科看護の役割と課題」をまとめる。	2	
2			事後課題：臨床外科看護総論序章「外科看護の流れと看護の要点」をまとめる。		
3	急性期における生体反応および感染症	同時双方向型授業	事前課題：臨床外科看護総論 1 章「手術侵襲と生体の反応」「炎症」「感染症」をまとめる。	1	
4	急性期における創傷治療等	同時双方向型授業	事前課題：臨床外科看護総論 1 章「創傷治療」をまとめる。	1	
5	手術療法における周術期看護の役割と看護の基本	同時双方向型授業	事後課題：周術期看護の役割について、授業のまとめを行う。	1	
6	周術期看護：術前の看護	同時双方向型授業	事後課題：周術期看護の役割について、授業のまとめを行う。	1	
7	周術期看護：術中、術後の看護(直接・間接介助等)(麻酔・輸血・人工呼吸器管理・ICU 等)	同時双方向型授業	事前課題	2	
8			輸血・人工呼吸器管・麻酔について、自己学習して授業に臨む。		
9	これまでの授業のまとめ(小テスト①)	講義・演習	事前課題：1～8 講までのまとめを行う。授業中の解説を復習する。	2	
10	循環器疾患の手術を受ける対象の看護	講義・演習	事前課題：成人看護学<3> 循環器「循環器の構造と機能」「検査」「虚血性心疾患」「心不全」をまとめる。	2	
11		同時双方向型授業			
12	循環器疾患の手術を受ける対象の看護(事例検討)	同時双方向型授業	事後課題：事例への看護をまとめる。	1	

[専門教育科目/看護の展開/成人看護学]

13	脳、神経系疾患の手術を受ける対象の看護	同時双方向型授業	事前課題：「脳、神経系の構造と機能」をまとめる。	1	
14	運動器疾患の手術を受ける対象の看護	同時双方向型授業	事前課題：「骨格筋、神経系の構造と機能」をまとめる。	1	
15	運動器疾患の手術を受ける対象の看護	同時双方向型授業	事前課題：「骨格筋、神経系の構造と機能」をまとめる。	1	
16	運動器疾患の手術を受ける対象の看護(事例検討)	同時双方向型授業	事後課題：事例への看護をまとめる。	1	
17	呼吸器疾患の検査を受ける対象の看護	同時双方向型授業	事前課題：成人看護学<2>呼吸器「検査を受ける看護」をまとめる。	2	
18	呼吸器疾患の手術を受ける対象の看護	同時双方向型授業	事前課題：成人看護学<2>呼吸器「肺がん患者の看護」をまとめる。		
19	呼吸器疾患の手術を受ける対象の看護(事例検討)	同時双方向型授業	事後課題：事例への看護をまとめる。	1	
20	消化器疾患・泌尿器疾患の手術を受ける対象の看護	同時双方向型授業	事前課題：成人看護学<5>消化器「消化器の構造と機能」「検査と治療」についてまとめる。	1	
21	消化器疾患の手術を受ける対象の看護(事例検討)	同時双方向型授業	事後課題：事例への看護をまとめる。	1	
22	手術室看護の安全	同時双方向型授業	事前課題：臨床外科看護総論 6 章「チーム医療と看護の役割」「インフォームドコンセント」「周術期における安全管理」についてまとめる。	1	
23	これまでの授業のまとめ(小テスト②)	講義・演習	事前課題：10～22 講までのまとめを行う。授業中の解説を復習する。	1	
24	実技演習① モニタリング(心電図)	講義・演習	周手術期の対応技術として、モニタリング(心電図)、輸液管理、術前・術後準備、創処置の演習を行う。	2	
25	実技演習② 輸液管理	講義・演習			
26	実技演習③ 術前・術後の準備(酸素・ベッド・ドレーン等の管理、創処置)	講義・演習			
27	実技演習のまとめ(GW)	同時双方向型授業	事前課題：演習内容の振り返り 事後課題：実技演習のまとめを行う。	1	
28	病院における急性期看護の実際(資料・DVD)	同時双方向型授業	事後課題：授業全体を振り返り、「急性期看護の役割」についてレポートする。	1	
29	急性・重症患者看護について、各自のレポートを基に、生命の危機状態にあるひとの看護を考える。(GW)	講義・演習	全講義の振り返りを行う。	1	
30	まとめ(小テストの補充)	講義・演習	全講義の振り返りを行う。	1	
試	定期試験：達成度評価、評価のポイント参照				

[専門教育科目/看護の展開/成人看護学]

総合評価割合(%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		80	10	0	10	0	100
総合力指標	知識・技術力	60	5	0	5	0	70
	思考・推論・創造する力	0	5	0	5	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記試験、小テストおよび実技演習時の課題により学習成果を評価する。				試験後に解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①	✓	レポート「急性期看護の役割」を評価対象とする。				レポートを基に授業を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①	✓	ノートにまとめた事前・事後課題を評価する。				事前・事後課題を基に授業を進める。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
<p>担当教員：◎小林 美雪 堀口まり子 吉岡睦世</p> <ul style="list-style-type: none"> Teamsを使った同時双方向型授業や放送授業と Teams による質疑応答での授業を行います。 Teams を使った同時双方向型授業に際しては、通信容量が無制限の Wi - fi 環境を推奨いたします。 新型コロナウイルス感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられますが、その際は随時、お知らせいたします。 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業への参加を認めません。 <p>教員の実務経験：看護師として臨床経験および看護系大学教員としての教育経験が豊富である。</p> <p>実践的授業の内容：実務経験のある教員の指導のもと、成人期の看護について理解を深める。 教員の経験から成人期の看護の実践事例を取り上げ効果的な学習に繋げる。</p>							